



Sponsor a Child

# クリスチャンパートナーズ

## 通信第 107 号

- 
- |                             |   |
|-----------------------------|---|
| ・発行日／2021年4月25日             | ・発行所／クリスチャンパートナーズ   |
| ・本部／〒350-1126 川越市旭町 1-19-18 | ・電話 049-242-4338  |
| 日本基督教団 川越教会内                | ・ <a href="https://www.christian-partners.com/">https://www.christian-partners.com/</a> |
| 郵便振替口座／00150-0-134994       |   |
- 

「折が良くても悪くても」 テモテへの手紙 二 第4章2節

理事長 木ノ内一雄

ご存知のようにミャンマーは非常に困難な事態に直面しています。国軍のクーデターによるもので、民主化を求める市民との間に対立が起こり、国軍側は武力を用いているため多数の死傷者が出ています。3月29日(月)に私たちクリスチャンパートナーズ理事会は、CNECシンガポール事務所の代表ライ氏とミャンマーSAC 担当のグレースさんとウェブ会議を持ちましたが、ミャンマーの銀行は閉鎖され、インターネットによる情報伝達もできず、かろうじて限られた時間帯だけ携帯電話が通じる状態となっているとのことです。わたしたちが3月にシンガポールに送金した学費等の支援金は、ミャンマーの「恵みの家」に届けることができない状況ですが、ヤンゴン市とは商売などによる国際的な人的交流はあるので、そのような人たちを通して送ることを検討したいと責任者ライ氏は言っていました。

私が2017年にミャンマーを訪問した時、人々は貧しいながらもアウンサンスーチー氏の下で新しい国づくりに意欲を見せていました。人々の明るい表情に将来に希望を持つことができました。当時、欧米諸国は彼女がロヒンギャ問題においても余りに国軍側に配慮しすぎであると不満を表明していましたが、今になれば彼女の心配が現実になったということで、非常に残念に思います。ミャンマーは部族国家で仏教国ですが、山岳地帯に住むカレン族はキリスト教徒がほとんどです。国軍側はこの部族に空爆を行っているとの報道があり、心を痛めています。

コロナ感染については、以前「恵みの家」に滞在した二人が陽性であることが分かり、施設は閉鎖され、全員が小学校に隔離されましたが、幸い陽性になった人はいなかったとのことでした。その後の状況については情報がありません。

「恵みの家」の子どもたち、そしてミャンマーの人たちのために覚えてお祈りください。

## 《恵みの家》 Dala Children Home 開設へ・・・

ミャンマーの人口は2020年に5千4百万人強で、UNICEFによると、子どもの人口はその三分の一、その55%が貧困状態にあると言われます。

Dala ダラは、首都ヤンゴン市の郊外にあり、ヤンゴン川で隔てられていて、船による交通しかありません。ダラ地域に住む家族の大半は肉体労働者で収入は不安定、女性たちは家々を訪ねて家事労働をして少しの収入を得るという生活で、子どもたちの多くは学校へも行かず、家庭内暴力などの犠牲者となっています。

パートナーズの指導者が10年前にこの地に行きましたが、福音の種をまくのは難しい地域でした。

しかし最近、この地方の牧師であるナイ・ミン・タン(Nay Min Tun)師が、学校へ行かなかったり、授業についていけない若者たちのために勉強の場所 Student Center を開設し、子どもや学生が20人以上出席し、信者も20名になりました。

ナイ師は結婚していませんが、養護施設での勤務経験もあり、子どもをかわいがる人であることがわかったのか、教会の前に小さな男の子が捨てられていました。ナイ師はその子どもを息子として引きとることにしました。

ところがそれを聞き知ったのか、次々と捨てられた男の子たちが彼のところに来て、生活を共にすることになりました。そのうえ、息子に見放され放浪していた中年女性が庇護を求めてきたので、ナイ牧師は、彼女に食事・洗濯など子どもの世話をしてもらうことにしました。

こうして思いがけない流れで、6人の孤児を養育する施設を開設しなければならなくなかったナイ牧師からの懇望を受け、シンガポールのパートナーズは日本のクリスチャンパートナーズに支援を求めてきました。

\*\*\*\*\*

「通信」第106号巻頭言の理事長からの要請に呼応して集められた支援金は、直ちにシンガポール経由で現地に送金されました。

その内訳は 子どもたちのための2段ベッド3組と必要な寝具 79,000円

子どもの生活費1か月分(1人3,500円×6名)合計10万円を2020年10月に、

子どもの生活費6か月分 126,000円を2021年3月に、

合計226,000円です。



右端がナイ牧師、膝の上の男の子、左隣の男の子と、その上の男の子が「恵みの家」の子どもたちです。  
左端の女性が家事と子供の世話を手伝います。

## 里子たち 6 名をご紹介します



ぼくは Paul Lau、2011 年 11 月生まれです。生まれて 1 か月で養子になりました。ぼくの父はクリスチャンです。BEPS 小学校の 3 年生です。好きな科目は英語で、絵を描くことも好きです。技術者になりたいです。



ぼくは Pyae Wine Thaw です。2010 年 5 月生まれです。父や酒飲みで歩くこともできません。母は掃除婦です。学校へ行っている兄がいます。BEPS 小学校の 5 年生です。好きな科目は科学です。サッカーが好きです。技術者になりたいです。



ぼくは Moses です。仏教徒です。2011 年 4 月生まれです。父は障害者で、母は健康ではありません。勉強している兄と、弟が 3 人います。BEPS 小学校の 2 年生です。好きな科目はビルマ語です。サッカーが好きです。警察官になりたいです。



ぼくは Yaw Shu です。2018 年 6 月 24 日生まれです。生まれて 20 日で牧師さんに保護されました。幼稚園に行っています。



ぼくは Min Khant Paing です。2011 年 8 月 13 日生まれです。父はいろいろの仕事をしています。母には仕事がありません。学校に行っている姉と、弟がいます。BEPS 小学校の 3 年です。好きな科目は数学です。サッカーをよくします。先生になりたいです。



ぼくは Shin Htet Paing です。2009 年 5 月 18 日生まれです。ぼくは仏教徒です。父は亡くなっていて、母は年を取り健康ではありません。結婚している兄が一人いて、姉が 4 人います。BEPS 小学校の 5 年です。好きな科目はビルマ語です。歌を歌うのが好きです。ぼくの希望は教師になることです。

## インドネシア奨学生の近況

昨年6月に神学校を卒業したドミアヌスは、西パプアのソロモン島に派遣され、3年間の伝道師としての奉仕を開始しました。インドネシア宣教協力会に關係するMANAREFO教会とのことです。インドネシアのダヤック族の出身である彼には、困難な働きの間かもしれない。奉仕の内容は賛美指導、子どもたち・青年たちの集会、毎水曜日の集会、信徒訪問などだそうです。

アンジュンガンの神学校での5年間の学びを、奨学金として支えてくださったクリスチャンパートナーズに感謝し、会員の平安を祈っているとのことです。（「通信」#105 p3参照） 神学校卒業式→



看護学校卒業式

今まで度々「通信」誌上で紹介してきた看護学校生ドノが、スルカム看護専門学校を卒業し、ポンティアナック市のムハマディア看護大学生になりました。宮澤理事を中心に支援を続けているクリスチャンパートナーズへ感謝の手紙が、高橋先生を通して送られてきました。

「シャローム、主の聖名を賛美します。

まず私の人生においていつも信頼できる主イエスキリストさまに、また大学の学士の学びが始まってから今日に至るまで、忠実に私をサポートしてくださっているクリスチャンパートナーズに感謝しています。ご厚意にお礼を伝えることができず、ごめんなさい。でもいつも祈りに覚えて、皆様の健康が守られて、イエスキリストさまがともに祈られることをお祈りしています。ご奉仕も仕事も神様が祝福してくださいように。

私はスルカム・ベテスダ看護学校での学びを終え11月に卒業しました。予定どおりに卒業できてとてもうれしいです。現在ムハマディア・ポンティアナック専門大学で看護の勉強を続けています。より一層勉強が大変で負荷が大きくなっています。コロナの問題がまだ収束していないので、オンラインで学んでいますが、しっかりとやれるように祈りのサポートをお願いします。私は今、ポンティアナックのザイトン寮に住んでいます。高橋めぐみ先生と宮澤姉に、再度感謝申し上げます。いつも健康が守られ長生きして、主イエスキリストさまが祝福してくださいように。（「通信」第101、103号参照）



【理事会報告】第212理事会は2020年12月7日(月) ウェブ会議で開催。2020年10月会計報告承認。ミャンマー支援について協議し、養護施設を「恵みの家」と命名。第213理事会は2021年1月25日(月)ウェブ会議で開催。インドネシアミッションの高橋めぐみ先生と三方美智子氏を招き、活動の現状を伺った。2020年11、12月会計報告承認。第214理事会は2021年3月29日ウェブ会議で、シンガポール事務所のライ氏とグレイス氏招待、ミャンマーの現状など伺う。「通信」107号は4月末に発行予定。次回理事会は2021年6月29日ウェブ会議で。各月の会計報告はそれぞれ承認。

（編集後記）コロナで混乱の日々、いかがお過ごしですか。皆様の健康が守られますよう祈ります。

鳥海百合子